

あわら市議会だより

第61号
令和元年8月15日 発行

あわら市議会だより【令和元年8月15日発行】第61号

16

議会日誌

おもな会議のみ掲載

5月13日 あわら市議会 加賀市議会合同中央要望
(～14日)

21日 議会報告会(1日目)

22日 議員会視察研修(～23日)

24日 議会報告会(2日目)

27日 議会報告会(3日目)

29日 議会運営委員会

30日 全員協議会

6月6日 第97回議会定例会 開会

18日 一般質問

19日 一般質問

20日 総務教育厚生常任委員会

21日 産業建設常任委員会

27日 議会運営委員会

28日 第97回議会定例会 閉会

7月4日 広報編集特別委員会

19日 広報編集特別委員会

22日 全員協議会

26日 広報編集特別委員会

26日 広報編集特別委員会

ふるさと探訪 「河濯神社」

通称かわっさんと呼ばれている神社で、この神社の祭神は瀬織津比賣命他です。
祭神の由来は、「河の瀬に坐す祓戸の神 諸々の禍事・罪・穢を祓い清めんと 河の瀬に出て身禊祓を行う
神話に由来する」(古事記)より引用

河の瀬に坐す女神である事から、夏河原で遊ぶ子等を見守る神等、水に関する連想から時代の変遷に従い、素朴で様々な信仰を生み出している。(由緒書)

その1つに旧金津町は昔から宿場町であったことや、旧芦原町は温泉街であったことから、「女の下神様」としても信仰されてきました。

遊女や芸妓が病気にかからないよう信仰し、病を水で洗い流して治すといわれています。また、境内にある清めの水は地下水です。

7月31日が祭日となっており、毎年その日には提灯に火がともり、神主さんがお祓いをされます。(堀田)



河濯神社(水口区)

編集後記

6月28日の6月定例会最終日において、議会の組織替えを行い、後半2年間のそれぞれの所属委員会が決まりました。
北陸新幹線開業まで残り約4年となり、芦原温泉駅周辺整備や公共施設再配置計画など、やらなければならないことが山積みで議会でも日々議論しているところです。
あわら市の情勢や日々議論されていることなどを正確に市民の皆様へ伝えるため、この「議会だより」を発行しています。
この「議会だより」が市民の皆様と議会の隔たりをなくすものになれば幸いと思い、委員一同、一生懸命努力して発行してまいります。(吉田)

発行責任者

議長 山田重喜

広報編集特別委員会

委員長 吉田山田
副委員長 堀室田
委員 仁山 佐口 陽一 志代 三治 知郎 一三 陽一 志代 三治 知郎 一三

金津まつり 六日区子ども踊り

6月定例会報告	2p
議会報告会	5p
委員会報告	6p
一般質問	9p
議会トピックス	14p
請願・陳情・意見書等	14p
討論	14p
議案と結果	15p
ふるさと探訪	16p



議会がインターネットで視聴できます。

あわら市議会インターネット中継

検索

<http://www.city.awara.lg.jp/gikai/>

発行／あわら市議会 編集／あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、議会だよりを目指しています。ご意見、ご感想をお寄せください。

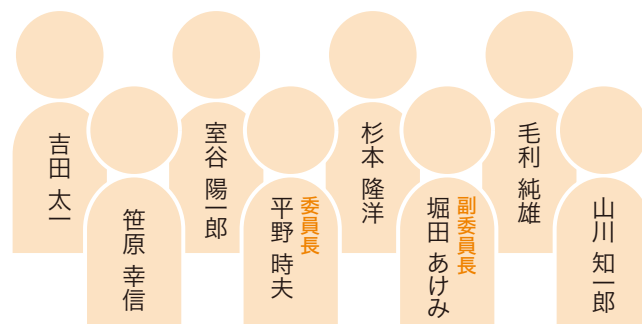
〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市議会事務局
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp



常任委員会構成

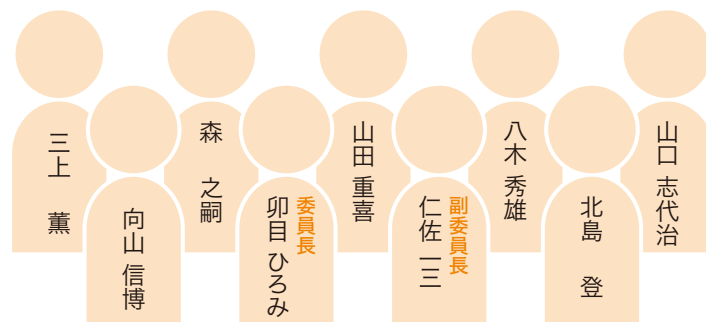
総務教育厚生常任委員会

総務部、財政部、市民生活部、健康福祉部、教育委員会、会計課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会および固定資産評価審査委員会の所管に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項の審査、調査を行います。



産業建設常任委員会

経済産業部、土木部、芦原温泉上水道財産区水道部および農業委員会の所管に関する事項の審査、調査を行います。



予算決算常任委員会 委員長 吉田 太一 副委員長 平野 時夫 委員 議長を除く全議員

議会運営委員会・特別委員会構成

議会運営委員会 (6名)	委員長 森 之嗣 委員 平野 時夫 卯目ひろみ	副委員長 北島 登 委員 吉田 太一 笹原 幸信
広報編集特別委員会 (7名)	委員長 吉田 太一 委員 堀田あけみ 山川知一郎	副委員長 室谷陽一郎 委員 山口志代治 仁佐 一三 卯目ひろみ
議会活性化特別委員会 (8名)	委員長 山川知一郎 委員 堀田あけみ 吉田 太一	副委員長 三上 薫 委員 山口志代治 平野 時夫 杉本 隆洋 卯目ひろみ
環境対策調査特別委員会 (8名)	委員長 山口志代治 委員 仁佐 一三 三上 薫	副委員長 室谷陽一郎 委員 平野 時夫 吉田 太一 八木 秀雄 山川知一郎
総合交通まちづくり 調査特別委員会 (8名)	委員長 杉本 隆洋 委員 堀田あけみ 北島 登	副委員長 毛利 純雄 委員 森 之嗣 向山 信博 笹原 幸信 卯目ひろみ

※議長はすべての委員会にオブザーバーとして出席します。

監査委員 笹原 幸信 あわら市の財務や事業について監査を行います。

6月定例会

新たな議会構成決まる

議長 山田重喜、副議長 吉田太一を選出

6月28日の第97回あわら市議会定例会最終日において、議長、副議長の選挙が行われたほか、常任委員会など、今後の議会運営で必要な議会の組織が決まりました。

就任のごあいさつ

市民の皆様には、平素より、市議会及び市政に対しまして、温かいご理解と力強いご支援を賜り、心より厚くお礼申し上げます。
この度、私たちは、6月定例会におきまして、議員各位のご推挙により、議長、副議長に就任いたしました。その職の責務の重大さを認識し、公正かつ円滑な議会運営に全力を尽くす所存でございます。
人口減少や超高齢社会が更に進む中、地方自治体の果たすべき役割はますます大きくなっております。また、本市は、目前に控える2023年の北陸新幹線芦原温泉駅開業に向けた駅周辺事業や鳥獣害対策事業、空き家対策事業など、取り組むべき課題が山積しており、二元代表制の一翼を担う市議会の役割もより一層重要となっております。
私たち市議会は、理事者から提出される議案に対して、そのまま追認するのではなく、是々非々で対応し、日々研鑽を積みながら幾多の課題に正面から取り組み、市民の負託に応えるべく努力してまいります。
市民の皆様には、今後とも市議会や市政について、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



議長 山田 重喜



副議長 吉田 太一



議長選挙の様子

第16回 議会報告会 「議員と語ろう会」を開催しました

5月21、24、27日の3日間、市内12会場において第16回議会報告会を開催しました。
 広く多くの方々に参加していただき、話題のテーマを挙げて意見交換を行いました。
 合計191名の市民の皆様にご来場いただき、多くのご意見やご要望をいただきましたので、皆様の声を抜粋して紹介します。
 なお、皆様からの意見・要望等は各委員会や一般質問で取り上げるなど、理事者に強く要請します。

主な内容

- ・3月定例会の概要報告
- ・市政に対する提言、議会活動などについて意見交換

テーマ 「議員定数の見直しについて」



北潟公民館

■ これまでのやり方には限界があり、イノシシは増えるばかりである。

■ 今年度から鳥獣害対策室を設置して取り組んでいるが、今後どのように進めるのかが見えてこない。

鳥獣害対策

■ 地域単位で行うことに不安を感じる。

■ 対象年齢が75歳から65歳以上に引き下げられ、実施すべき内容が多岐にわたる。ガイドラインなどが必要でないか。

■ 健康長寿のついでに

定例会概要報告 に関する質疑

■ 定数を減らした分、報酬をあげて、しっかり働いてもらいたい。頑張っていれば削減の話は出てこない。

■ 市の財政が厳しいのであれば、議員が身を切って示す必要がある。

■ 4人減でも問題ないのではないか。



中央公民館

■ 地区の議員がいないので、定数の削減には反対である。

■ 議員の質を向上させることが先決であるが、人口減少も考え、もっと削減すべきである。

■ 将来、あわら市も人口減少が進むので、人口規模に見合った議員定数を随時考えていく必要がある。

■ 議員の質を向上させることが先決であるが、人口減少も考え、もっと削減すべきである。

■ 定数を減らす必要はない。それより、もっと立候補できる工夫が必要である。例えば、夜の議会にするとかも考えられる。

■ 定数削減をする必要はない。むしろ議員から、18人は必要だとの声を積極的に出すべきである。

■ 議員報酬だけで議会活動をするのは無理がある。政務活動費は必要であり、議員同士で専門的な政策勉強に力を入れるべきである。行政以上の情報を持つていなければ、市長サイドと対峙できない。



細呂木公民館

6月定例会 令和元年度一般会計補正予算(第1号) 7,731万円を増額



令和元年度 本陣飾り物コンクール
あわら市議会議長賞
六日区本陣飾り物
「令和元年 市姫神社」

- 市議会の議員の定数を定める条例を改正 議員定数18人から16人に
- 市議会委員会条例を改正 予算決算常任委員会を設置
- 一般会計予算総額は147億7,731万円に

農業委員	澤田 宗男 氏	竹内 和之 氏	伊藤 守男 氏	坪田 清孝 氏
	はせがわだいすけ	たけうち かずゆき	みなみさか	もり まさのり
	長谷川太佑 氏	つじした よしお	南坂 覚則 氏	もり 森 雅規 氏
	よしむら しげお	うへだ ゆきはる	きた ひろみ	もりかわ よしあき
	吉村 重夫 氏	上田 幸治 氏	北 廣見 氏	森川 嘉昭 氏
	まるや こうじ	ながた なつこ	はやし けいこ	たにかわ さとし
	丸谷 浩二 氏	長田奈津子 氏	林 恵子 氏	谷川 聡志 氏

令和元年6月定例会が6月6日から28日までの会期で開催されました。

今定例会では、繰越計算書の報告に関するもの4件が受理され、専決処分の承認に関するもの2議案、補正予算に関するもの1議案、条例の改正等に関するもの4議案、市道路線の変更に関するもの1議案、人事に関するもの17議案、財産の取得に関するもの1議案の計26議案が上程され、すべて原案のとおり承認・可決・同意されました。

なお、今回は9人の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をたどしました。

その他、議員発議による条例の改正に関するもの2議案、意見書の提出に関するもの1議案が可決されました。

総務教育厚生常任委員会

インターネット中継で審査状況をご覧になれます。

令和元年度
一般会計補正予算

■総務課

防犯灯設置事業補助金
90万円委員 90万円に含まれる
予備費24万5千円は何か
理事者 防犯灯設置事業
補助金の5割補助は、
今年度が最終年度なので
追加申請も考えられ、そ
れに備えた予備費です。

防犯灯



なみまちcafé オープニングセレモニー

■政策課

波松小学校における
休校利活用事業
120万円委員 「なみまちカフェ」
のオープンに向けた空調
機器の取替え工事に係る
経費だが、これで利活用
事業は完了するのか。
理事者 当該事業が手始
めであり、今後の展開は
随時相談しながら進めて
いきます。並行在来線準備会社
出資金
1千500万円委員 今後、追加の出資
はないのか。
理事者 来年度までは明
らかにありませんが、現
時点増額にはならない
と聞いており、引き続き
県に要望していきます。

■生活環境課

北潟湖自然再生推進
事業
50万円委員 事業計画における
絶滅危惧昆虫の生息地
再生事業について、その
地域に細呂木地区や浜

赤尾湿地

■福祉課

プレミアム付商品券
給付事業
3千490万円委員 プレミアム商品券
の購入は、5セットが最
小単位か。
理事者 5セットまで購
入する権利がある人でも
3セットの購入も可能で
す。その際プレミアム分
は3千円となります。※プレミアム付商品券
消費税・地方消費税
率の10%への引き上げが、
低所得者・子育て世帯
(0〜2歳児)の消費
に与える影響を緩和す
るとともに、地域にお
ける消費を喚起・下支
えするために販売を行
う。

議案外の件

■子育て支援課

3〜5歳児の幼児
教育・保育無償化に
伴う副食費について子ども・子育て支援
法の改正により、10月か
ら認定こども園などの利
用料は無償となります。
副食費については、各こ
ども園が設定し、保護
者から直接徴収すること
となります。令和元年度
の5歳児において、10月
〜3月に限り免除するこ
とを考えています。

産業建設常任委員会

インターネット中継で審査状況をご覧になれます。

令和元年度
一般会計補正予算

■農林水産課

農業用ハウス強靱化
緊急対策事業補助金
380万8千円委員 十分な耐候性のな
い農業ハウスの補強や防
風ネットの設置等に対す
る補助金とのことだが、
対象の5農業者において
ハウス1棟あたりの事業
費にばらつきがある。そ
の理由は何か。
理事者 補強資材の違い
や自主施工の有無による
ものです。

農業用ハウス

■建設課

道路橋りょう維持
管理経費
10万円委員 市道1122号線
が「あらた坂」と命名され
地元において法面管理
を行うことになったとの
ことだが、これから先、

市道1122号線(あらた坂)

地元で管理していくのか。
理事者 桜ヶ丘区は、以
前から市道滝・高塚線
の法面管理を行っており、
今回もお願いすること
となりました。なお、10万
円は資材費となります。
委員 協力的で喜ばしい
ことである。あわら市森林環境
譲与税基金条例の
制定委員 本年度から令和3
年度まで、年間600万
円が基金に積み立てられ
るが、その用途をどのよ
うに考えているか。理事者 今年度は、坂井
市と共同で坂井地区の
「森林整備構想」を作
成し、あわら市としては
この基金から250万円
を充当します。なお、この税については、
温室効果ガス排出削減
目標達成や森林災害防
止を図る目的で創設され、
市に交付されることにな
りました。また、今後については、
県や市町、森林組合等
で構成する協議会で協議
することを予定していま
す。芦原温泉上水道財
産区水道事業給水
条例の一部を改正
する条例の制定委員 財産区民への周知
をどう考えているのか。
理事者 回覧板をまわす
ことと併せて、毎月の検
針票にお知らせを記載し
ます。

市道路線の変更

■建設課

委員 石塚橋の架け替え
に伴う取り付け道路の変
更によって、不要となっ
た土地の帰属はどうなる
のか。理事者 当該土地は元々
個人名義のものであり、
土地所有者に返還するこ
とで関係者の同意を得て
います。同土地への出入
りについては、道路標示
などで一般者の規制を行
います。

市道387号線(北正田区)

市政について問う!

6月定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。
ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)

インターネット中継で一般質問をご覧になれます。



■吉田 太一 議員

- 乗り合いタクシーと新たな公共交通の在り方について

■堀田 あけみ 議員

- あわら市のまちづくりと交通安全の推進・対策について

■八木 秀雄 議員

- 子どもの安全対策について
- 市道田中々舟津線(湯〜わくDori)について
- あわら市経済懇談会について

■仁佐 一三 議員

- 新幹線開業をみすえた湖畔公園のあり方について

■山口 志代治 議員

- まちむらときめきプランの取り組みについて

■平野 時夫 議員

- 液体ミルクの備蓄導入について
- 障がい児の放課後等デイサービス事業について

■室谷 陽一郎 議員

- JR芦原温泉駅周辺整備基本計画について

■卯目 ひろみ 議員

- 新事業「健康長寿のつどい」について
- 交通安全からみた道路の維持管理(白線引き)の必要性とは

■山川 知一郎 議員

- 空き家対策について
- 鳥獣害対策について

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用し

マイカーを使った公共

交通空白地有償運送事

業を、本市に導入する考

えはあるか。

吉田

ICTを活用

あわら市のまちづくりと交通安全の推進

堀田 金津本陣 I K O S S A 前の市道について、I K O S S A 前の交差点から県道芦原丸岡線までの区間は道路幅員が狭い。拡幅計画に取り組まない理由は何か。

交通事故防止に努めています。

堀田 歩行者の安全対策と消えかかっている横断歩道や道路標示、区画線等の対応、また、その優先順位はどのようになっているか。

土木部長 当該路線は都市計画道路市姫線であり、都市計画道路の整備については、社会情勢の変化に応じて進めていくとされています。当該区間については、用地の確保など、様々な課題があるので、早急に整備することは困難だと考えています。

堀田 交通事故防止に努める必要があると考えるがいかがか。

市民生活部長 警察署や交通安全団体と連携し、

歩道等の整備は行っているのか。

土木部長 平成17年度以降の歩道整備には、セミフラット形式を採用しています。今後、歩道を整備する際には、こうした障がい者の目線に沿った考え方も取り入れ、全ての人に優しいまちづくりを努めていきます。



都市計画道路市姫線



堀田 あけみ 議員

子ども安全見守り隊あわら温泉湯くわくDori整備の費用対効果あわら市企業との経済懇談会の今後の見込み

子ども安全見守り隊

八木 子ども安全見守り活動状況はどの様になっているのか。

教育長 見守り隊の人数は学校ごとに差があり、見守り隊がない行政区もあります。各関係機関に再度協力を呼びかけ、担い手の確保に努めるとともに、警察を招いた講習会を開催するなど、見守り隊の意識向上に努めていきます。また、不番者への対策については、児童・生徒への不審者対応を再度徹底して行い、周囲の目の届きにくい場所は「子ども110番の家」を活用し、警察と連携しながら犯罪の未然防止を図っています。

あわら温泉湯くわくDori整備の費用対効果

八木 あわら温泉湯くわくDori整備の費用対効果は。

経済産業部長 石畳の歩道やオレンジ色の行灯風照明により温泉情緒があると、観光客から高い評価を得ています。県内の旅行雑誌や旅行プランにも多く取り上げられています。

市長 湯くわくDoriの回遊性を高める努力をしています。また、いろんなイベントの中で、湯くわくDoriなどを回遊するようなことも考えたく、しっかりと活用していきます。

あわら市企業との経済懇談会の今後の見込み

八木 あわら市企業との経済懇談会の今後の見込みは。

市長 社会経済情勢が大きく変化する中、新幹線開業に向けたまちづくりや中小企業の振興、商店街の再生などが課題となっています。これらに的確に取り組む必要があり、あわら市経済懇談会を設け、定期的に意見交換を行うこととしました。座長の株式会社SHINDOの新社長CEOに加え、市内の社長7名のメンバーからは、一緒に協力して頑張ろうとの意向を聞いています。



八木 秀雄 議員

新幹線を見据えた湖畔公園の在り方

仁佐 湖畔公園における芝の維持管理業務について、除草剤の散布及び施肥の時期がずれているのではないかと。除草剤は、4月中旬に散布しなければ、夏草を抑えることができない。なお、薬剤の種類も生えてくる草に合ったものを選定すべきと考える。

土木部長 受注者と打ち合わせを行いながら、適正な維持管理に努めていきます。

仁佐 湖畔公園は、自然豊かな湖と広大な芝生の公園である。4年後の新幹線開業を見据え、この公園をより遊べる、楽しめる、人が集まる公園とすべきであり、現在の設備を充実させる必要

がある。例えば、もつとユニークなおもしろ自転車、風に強いポート、グラウンドゴルフ場など、収益性につながるのではないかと考える。

市長 芝生の管理や公園の状況を確認するため、赤尾区の入り口からアイリスブリッジまで歩き、足こぎポートにも乗りました。少しの風にもかかわらず、貸し出しを制限するポートもあり、多くの人が待っている状況を見ると、充実しているとは言えないと痛感しています。サイクリングロードやウォーキングロードは、もつとPRすれば、人が集まると思っています。

また、4年後と言わ



北潟湖畔公園



仁佐 二三 議員

まち・むらときめきプランの取り組み

山口 ときめきプランの進捗状況は。

市長 昨年度、市内全29集落の聞き取り調査を行い、現状や課題をまとめた「集落カルテ」を作成しました。その中で、ほとんどの住民が自分の集落に愛着を持ち、その伝統や歴史・文化資源等を大切にしたいとの思いを感じました。

集落ときめき活動事業は、今年度から4年間で、各集落への補助事業として5千500万円を活用します。既に区長を通じて事業の説明を行っています。内容は、既存の補助メニューでは対応できない集落活性化に向けたソフト、セミハード事業となっています。

既に清滝区では、青年の呼びかけにより事業が動き出しています。

山口 集落カルテは公表しているのか。

市長 当該集落に限って公表しているが、一般に公表することは考えていません。

山口 集落カルテを踏まえ、区に応じた対策を講じるべきではないか。

市長 集落が自主的に行う活性化事業を対象としています。そのための手引書やハンドブックを区長に配布しています。

山口 ときめきプランで集落への各種事務の見直しを述べているが、どの程度進んでいるのか。

市長 今年度から区長を対象としたワンストップ



区長ワンストップ窓口



山口 志代治 議員

窓口を設け、利用件数も増えています。

山口 地域職員制度の活用は考えているのか。

市長 地域職員制度は、福井市において実施されていますが、現時点で、本市での導入は考えていません。

山口 区以外への助成は考えられないか。

市長 複数の区が連携した活動や、子ども会や老人会、婦人会などの活動も対象としています。

液体ミルクの備蓄・障がい児放課後等デイサービス事業

液体ミルクの備蓄導入

平野 こども園等への備蓄導入の考えは。

総務部長 大規模地震災害時等には、こども園が避難所としての役割を果たすことも重要であり、避難者分も含めて、備蓄物資の点検・見直しを進めていくことが必要です。その際には、液体ミルクや瓶の離乳食用副食などの採用も検討します。

平野 防災倉庫・特定避難所へ液体ミルク、使い捨て哺乳瓶の備蓄の考えは。

総務部長 現状、防災倉庫ではミルクの備蓄はしていません。災害時応援協定を結んでいる県

内外の自治体や、民間の物資供給支援業者から調達する方が現実的と考ええます。県や県内市町の動向も注視し、柔軟な運用ができるよう検討します。

平野 家庭備蓄の周知とローリングストックについての見解は。

総務部長 防災出前講座等において「ローリングストック方式」の有効性を説明しており、今後、防災ガイドブックやホームページなどを通じて周知いたします。



液体ミルク

障がい児放課後等デイサービス事業

平野 市内に放課後等デイサービス事業所がない現状をどう考えるか。

健康福祉部長 今後も利用希望者が増えることが見込まれるので、市内にも放課後等デイサービス事業所が設置されることが望ましいと考えています。

平野 坂井市の事業所が、あわら市内でのサービス提供を検討しているそうだが、市として全力で支援すべきでないか。

健康福祉部長 早期の事業所開設に向け協議中であり、できる限り支援を行っていきたくと考えています。

平野 時夫 議員



芦原温泉駅前商店街の活性化に積極的な取り組みを！

室谷 市街地活性化の最も重要なことのひとつが、空き家・空き店舗の解消と活用、それによる住まいと賑わいの創出である。商店街の空き店舗や空き家のリノベーションをどうするのか。

経済産業部長 これまでに「空き店舗チャレンジシヨップ支援事業」や県

のふるさと創造プロジェクト事業補助金を活用した支援を行ってきたいます。本年度は、「空き店舗・空き家改修事業補助金」を創設しました。

室谷 市民目線で効果が出ているとは思えない。年々疲弊していくようにさえ見える。単に制度を設け、募集をかけるだけでは変わらないと考

える。基本戦略に立った「まちづくりの誘導」がない。積極的に働きかけ、出店を促す必要があるのではないか。

副市長 まずは駅前整備を着実に進め、このような駅になるということを示し、最終的に賑わいのある商店街につなげる考えです。

室谷 駅前の賑わいホールと駐車場整備から、その先の商店街の賑わいを取り戻す意気込みを示す必要があるのではない

か。

市長 財政的な制限があり、まずは駅周辺ということです。セミハード、ソフトも含めた全体を連動させる形で促進させ、商工会等ともしっかり連

携していきたいと考えます。

室谷 他の市町村では、空き家や空き店舗を活用したテナントミックス事業を効果的に行うことで、市街地の活性化を図る取り組みが進んでいる。駅前エリアにおいても、そこまで踏み込んだ市の事業が必要だと考える。

室谷 陽一郎 議員



芦原温泉駅前商店街

新事業

「健康長寿のつどい」

卯目 「健康長寿祭」から「健康長寿のつどい」に移行した理由は何か。

市長 参加者や実施委員から「時間が長過ぎる」「内容がマンネリ化している」などの意見がありました。可能な限り改善してきましたが、参加者は年々減少している状況です。参加しなかった人へのアンケートには、「地区単位での開催の方が参加しやすい」との意見が多数ありました。

卯目 この事業の目的は何か。

市長 あわら市の高齢化が進み、3人に1人が65歳以上、88歳以上の方が約1千100人に及びます。高齢者が元気で暮らしていくためには、単

なる長寿祭ではなく、フレイル予防や認知症予防など、自らが健康の維持及び介護予防に取り組む必要があります。

よって、健康寿命の延伸を目的に、「健康長寿のつどい」をスタートすることになりました。

卯目 参加者を増やす工夫は。

健康福祉部長 対象年齢を75歳以上から、今回は65歳以上に広げ、参加しやすいように、小学校単位を原則とした6地区で開催することにしました。

卯目 開催に向けた進捗状況は。

市長 全区長、民生委員、老人クラブ連合会などにおいて、説明と協力を依頼しました。なお、

卯目 ひろみ 議員



協議を進めていく中で、当初想定していた6地区での開催が、現在は12地区になる予定です。

各地区からは概ね了解を得ていますが、地区の負担が重くならないように、実施委員会の立ち上げから積極的に支援し、地区が経費を立て替える必要がないように、事前に交付金を交付します。

剣岳地区では、これまで地区独自の長寿祭を開催していますが、今年はこの交付金を活用し、大変盛り上がったと聞いています。

今後も各地で開催してもらえよう、地区に出向いて丁寧に対応していきたいと考えています。

空き家利活用に支援を

山川 「移住定住推進室」を新設したが、空き家の現状と相談件数、内容はどうなっているか。

市長 平成30年度の状況は、解体、入居により空き家でなくなったものが66件、新たに空き家となったものが45件で、3月末現在では、560件の空き家を把握しています。

相談は、移住定住に関するものや空き家の利活用に関するものなど、34件を受けています。

山川 利活用を推進するには、改修費の助成など、新たな支援が必要と考えるがどうか。

市長 新たな支援策を検討したいと考えています。

鳥獣害対策の強化を

山川 「鳥獣害対策室」を新設したが、昨年度の被害状況と対策の重点は何か。

経済産業部理事 平成30年度の被害件数は101件、被害面積は約15ヘクタールで前年度より増えています。

対策については、集落を主体として、①寄せ付けられない環境づくり②侵入防止③捕獲を中心に進めています。

山川 金網固定柵の補修や維持管理に対する助成を拡充すべきではないか。

経済産業部理事 固定柵の補修や維持管理については、多面的機能支払交付

金や中山間地域直接支払交付金を活用していただくよう、周知を図っていききたいと思います。

また、固定柵の維持管理について、国、県の助成がないことを踏まえ、設置工事費の上乗せと併せ、助成の創設を強く求めています。

山川 知一郎 議員



金網固定柵整備(清滝区)

令和元年6月 第97回あわら市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

○…賛成 X…反対 △…棄権 ―…欠席等 ※議長は採決に加わらないので「/」で表示		議決結果	堀田あけみ	室谷陽一郎	山口志代治	仁佐一三	平野時夫	毛利純雄	吉田太一	森之嗣	杉本隆洋	山田重喜	三上薫	八木秀雄	笹原幸信	山川知一郎	北島登	向山信博	卯目ひろみ
市長提出議案	専決処分の承認を求めることについて（あわら市税条例等の一部を改正する条例の制定について）	承認	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	専決処分の承認を求めることについて（あわら市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）	承認	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度あわら市一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	x	○	○	○
	あわら市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわら市森林環境譲与税基金条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわら市営駐車場条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	芦原温泉上水道財産区水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市道路線の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわら市農業委員会委員の選任について（澤田宗男 氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわら市農業委員会委員の選任について（竹内和之 氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわら市農業委員会委員の選任について（伊藤守男 氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわら市農業委員会委員の選任について（坪田清孝 氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわら市農業委員会委員の選任について（長谷川太佑 氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわら市農業委員会委員の選任について（辻下義雄 氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわら市農業委員会委員の選任について（南坂寛則 氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわら市農業委員会委員の選任について（森雅規 氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわら市農業委員会委員の選任について（吉村重夫 氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわら市農業委員会委員の選任について（上田幸治 氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわら市農業委員会委員の選任について（北廣見 氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわら市農業委員会委員の選任について（森川嘉昭 氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわら市農業委員会委員の選任について（丸谷浩二 氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわら市農業委員会委員の選任について（長田奈津子 氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわら市農業委員会委員の選任について（林恵子 氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわら市農業委員会委員の選任について（谷川聡志 氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	あわら市監査委員の選任について（笹原幸信 議員） ※笹原幸信 議員は、本人にかかるため退席	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	-	○	○	○	○
議員提出	あわら市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	x	○	○	○
	あわら市議会委員会条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	食料・農業・地域政策確立に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○

在職15年以上表彰

6月11日の第95回全国市議会議長会定期総会において、卯目ひろみ議員が市議会議員在職17年表彰を、向山信博 議員、北島登 議員、故坪田正武 議員が市議会議員在職15年表彰を受けました。

また、4月9日の第94回北信越市議会議長会定期総会においても、向山信博 議員、北島登 議員、故坪田正武 議員が表彰を受けました。



↑表彰伝達式 森議長(左)から表彰状を受ける卯目議員(右)



↑感謝状伝達式 山田副議長(左)から感謝状を受ける森議長(右)

感謝状(国と地方の協議の場等に関する特別委員会副委員長)

6月11日の第95回全国市議会議長会定期総会において、森之嗣議長が国と地方の協議の場等に関する特別委員会副委員長として、会務運営の重責にあたられたことに対し、感謝状が贈られました。

討 論

令和元年度あわら市一般会計補正予算(第1号)

プレミアム商品券給付事業は、消費税増税による影響を緩和するため、2千500万円分の商品券を発行するものだが、そのために3千490万円もの事業費を支出することは認められない。

そもそも消費税は、高齢者福祉のためとして導入されたが、高齢者福祉は悪化する一方である。なお、消費税は法人税減税などに充てられており、増税は認められない。



あわら市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について

議員定数を削減すれば、市民の声は届きにくく、女性や若者は立候補しにくくなる。また、二元代表制というのはものの、議会の権限が非常に弱くなっている状況であり、ますます権限は弱くなるだろう。さらに、人口比から議員が多過ぎるとの声もあるが、議員定数は人口比で決めるものではないので、現状維持とすべきである。



食料・農業・地域政策確立に関する意見書



基本的には賛成だが、国は再生産可能な米の価格を保障すべきである。また、1JA構想が組合員のためにはなっていないので、これらを意見書に加えてほしい。

請願・陳情
意見書等

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

●食料・農業・地域政策確立に向けた要請

提出者 花咲ふくい農業協同組合 代表理事組合長 富田勇一

結果 農政連坂井支部 支部長 北島友嗣

●あわら市農業対策に関する要請書

提出者 花咲ふくい農業協同組合 代表理事組合長 富田勇一

結果 農政連坂井支部 支部長 北島友嗣

市へ積極的に取り組むよう要望